

|              |   |
|--------------|---|
| 教科・科目        | 英語探究Ⅱ(標準)   |
| 担当者          | 寺鍛冶尚紀 中村光揮  |
| 評価割合(試験:試験外) | 試験:0 試験外:10   |
| 年間を通じて教科で培う力 | 鍛錬(知識・理解) 語彙や文法について、意味、形、機能を理解する力、語彙や文法について目的や場面、状況に応じた必要な情報を読み取ったり、相手の意図や話相手の意見を理解したうえで尊重し、学び合いの中で互いの考えや意見 |

ここ

| 月 | 回 | 単元(学習)目標   | 単元目的(到達状態)                                   | 学習内容   | 活動内容   |
|---|---|--|--|--|--|
| 4 | 5 | SKYWARD<br>COSMOS<br>Unit1<br>イギリス人の服装のセンス<br>・比較文化に関連したテーマの入試問題を解くことができる。 | 大学入試問題を通して、様々なテーマの理解を深め、読解力と思考力を身につけることができる。 | 本文の速読、速聴を中心に扱い、かつ関連テーマである入試問題の演習に取り組むことで、学んだ知識や表現を応用できるようにし、知識の定着と技能の精緻化を促す。大学入試問題の頻出テーマを扱いながら、具体的に次の構文を扱う。<br><構文のポイント><br>関係詞節と分詞句<br>1. <allow O to do> 2. <A rather than B><br>1. 情報を付け加える分詞構文 2. <A,B, and C> | ・講義<br>・演習問題<br>・ペアワーク/グループワーク<br>・プレゼンテーション |
| 5 | # | Unit2<br>ヨーロッパにおける農業の伝播<br>・歴史学に関連したテーマの入試問題を解くことができる。                     | 大学入試問題を通して、様々なテーマの理解を深め、読解力と思考力を身につけることができる。 | 本文の速読、速聴を中心に扱い、かつ関連テーマである入試問題の演習に取り組むことで、学んだ知識や表現を応用できるようにし、知識の定着と技能の精緻化を促す。大学入試問題の頻出テーマを扱いながら、具体的に次の構文を扱う。<br><構文ポイント><br>名詞節を作るhow<br><depend on A>  | ・講義<br>・演習問題<br>・ペアワーク/グループワーク<br>・プレゼンテーション |
| 6 | # | Unit3<br>ある女性と2匹の猫<br>・エッセイ型文章の入試問題を解くことができる。                              | 大学入試問題を通して、様々なテーマの理解を深め、読解力と思考力を身につけることができる。 | 本文の速読、速聴を中心に扱い、かつ関連テーマである入試問題の演習に取り組むことで、学んだ知識や表現を応用できるようにし、知識の定着と技能の精緻化を促す。大学入試問題の頻出テーマを扱いながら、具体的に次の構文を扱う。<br><構文のポイント><br>1. <It takes O1 O2 to do> 2. <make + O + do (原形不定詞)><br>部分否定                           | ・講義<br>・演習問題<br>・ペアワーク/グループワーク<br>・プレゼンテーション |

|   |   |   |  |  |  |
|---|---|---|--|--|--|
| 7 | 9 | Unit4<br>メディアによる<br>ステレオタイプ<br>化の問題<br>Unit5<br>安楽死と自殺ほ<br>う助<br>・現代社会に関<br>連したテーマの<br>入試問題を解く<br>ことができる。<br>・医療に関連し<br>たテーマの入試<br>問題を解くこと<br>ができる。 | 大学入試問題を通し<br>て、様々なテーマの<br>理解を深め、読解力<br>と思考力を身につけ<br>ることができる。 | 本文の速読、速聴を中心に扱い、かつ関<br>連テーマである入試問題の演習に取り組<br>むことで、学んだ知識や表現を応用でき<br>るようにし、知識の定着と技能の精緻化<br>を促す。大学入試問題の頻出テーマを扱<br>いながら、具体的に次の構文を扱う。<br><構文のポイント><br>in whichで置き換えられる関係副詞<br>where<br>付帯状況のwith<br>1. <range from A to B> 2. 分詞の後置修<br>飾<br>関係詞の非制限[継続]用法<br><range from A to B><br>強調するための倒置構造   | ・講義<br>・演習問題<br>・ペアワーク/グループワー<br>ク<br>・プレゼンテーション |
| 9 | # | Unit6<br>子どもの道徳性<br>の発達<br>Unit 7<br>動物園に対する<br>賛否<br>・教育に関連し<br>たテーマの入試<br>問題を解くこと<br>ができる。<br>・自然生物に関<br>連したテーマの<br>入試問題を解く<br>ことができる。            | 大学入試問題を通し<br>て、様々なテーマの<br>理解を深め、読解力<br>と思考力を身につけ<br>ることができる。 | 本文の速読、速聴を中心に扱い、かつ関<br>連テーマである入試問題の演習に取り組<br>むことで、学んだ知識や表現を応用でき<br>るようにし、知識の定着と技能の精緻化<br>を促す。大学入試問題の頻出テーマを扱<br>いながら、具体的に次の構文を扱う。<br><構文のポイント><br>"1. 同格のthat 2. whateverの名詞節<br>3. 動名詞の意味上の主語"<br>asの用法 (～しながら)<br><compare A to B><br>1. 不定詞の意味上の主語 2. 関係副詞<br>when<br>no more ~ than ...[not ~ any more<br>than ...]<br>1. range from A to B 2. 分詞構文による<br>補足説明 | ・講義<br>・演習問題<br>・ペアワーク/グループワー<br>ク<br>・プレゼンテーション |

|   |   |   |  |   |  |
|---|---|---|--|---|--|
| # | 9 | Unit8<br>動物園に対する賛否<br>Unit9<br>現代史における3つの政治体制<br>・自然生物に関連したテーマの入試問題を解くことができる。<br>・国際関係に関連したテーマの入試問題を解くことができる。 | 大学入試問題を通して、様々なテーマの理解を深め、読解力と思考力を身につけることができる。 | 本文の速読、速聴を中心に扱い、かつ関連テーマである入試問題の演習に取り組むことで、学んだ知識や表現を応用できるようにし、知識の定着と技能の精緻化を促す。大学入試問題の頻出テーマを扱いながら、具体的に次の構文を扱う。<br><構文のポイント><br>コンマと情報の追加<br>助動詞may<（確かに）～かもしれないが、しかし…><br>1. ダッシュ等による補足説明 2. 同格（名詞（句）＋名詞（句））<br>〈make + O + do（原形不定詞）〉<br>前置詞を含む関係代名詞節<br>〈from A to B〉<br>〈not just A but also B〉<br>「人以外」に説明を加える関係代名詞<br>1. 記号（ダッシュ）による補足説明 2. 関係詞の非制限「継続」用法 | ・講義<br>・演習問題<br>・ペアワーク/グループワーク<br>・プレゼンテーション |
| # | # | Unit10  | 大学入試問題を通して                                   | 本文の速読、速聴を中心に扱い、かつ関  | ・講義  |
| # | 4 | Unit11  | 大学入試問題を通して                                   | 本文の速読、速聴を中心に扱い、かつ関  | ・講義  |
| 1 | 4 | Unit13  | 大学入試問題を通して                                   | 本文の速読、速聴を中心に扱い、かつ関  | ・講義  |

て使用する力を身につける  
の概要・要点を正しく捉えることができる力を身につける。  
を深めることができる力を身につける  
での評価が、試験外評価と一致します

| 評価方法・ポイント   |
|---|
| <div>・小テスト</div> <div>・課題提出</div> <div>・レポート</div> <div>・ペア・グループでのコミュニケーション活動</div> |
| <div>・小テスト</div> <div>・課題提出</div> <div>・レポート</div> <div>・ペア・グループでのコミュニケーション活動</div> |
| <div>・小テスト</div> <div>・課題提出</div> <div>・レポート</div> <div>・ペア・グループでのコミュニケーション活動</div> |

- ・小テスト
- ・課題提出
- ・レポート
- ・ペア・グループでのコミュニケーション活動

- ・小テスト
- ・課題提出
- ・レポート
- ・ペア・グループでのコミュニケーション活動

- ・小テスト
- ・課題提出
- ・レポート
- ・ペア・グループでのコミュニケーション活動

・小テスト

・小テスト

・小テスト